

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)重症肺炎に対する direct hemoperfusion using a polymyxin B immobilized fiber column (PMX-DHP) (ポリミキシン B 固定化カラムによる直接血液灌流法)の有効性についての探索的研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 救命救急センター科 (研究責任者) 桑名 司

<研究期間> 承認日 ~ 西暦 2022年12月31日

<研究の目的と意義>

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の中には重症肺炎となり肺の炎症を抑える薬や治療が複数必要となる重症な患者さんがいます。ステロイドや一部の過剰な免疫反応を抑える薬がありますが、それでも重症な方は亡くなる方がいます。ステロイドや過剰な免疫反応を抑える薬を使っても重症な方に、direct hemoperfusion using a polymyxin B immobilized fiber column (PMX-DHP)(ダイレクト ヘモパーフュージョン ユージング ア ポリミキシン B インモビライズド ファイバー カラム(ピーエムエックスディーエッチピー)ポリミキシン B 固定化カラムによる直接血液灌流法という、血液吸着療法を行った方がいます。血液吸着療法とはカテーテルという管を介して血液を取り出して血液中の悪い物質を吸着の原理で取り除き、その血液を血管内に戻すという治療です。今回の研究では、この PMX-DHP による治療がどれくらいの効果があるのか、また中でもどのような方に効果があるのかなどを調べます。

診療記録(カルテ)を見て、必要な臨床情報を使用いたします。

<利用する試料・情報の項目>

診療記録(カルテ)を利用します。

診療記録から、性別、大まかな年齢、COVID-19 の発症日・入院日、COVID-19 の変異株の有無・種類、ICU 入室期間、人工呼吸器などの人工臓器装着期間、COVID-19 に対して使用した薬や治療、二次性合併症としての細菌感染症の有無・培養された細菌の種類・使用した抗菌薬の種類・期間、血液検査や尿検査の結果、他に使用した薬、血圧・脈拍数・呼吸数・体温などのバイタルサインを確認します。

<対象となる患者さん>

西暦 2020年1月1日～西暦 2021年9月30日の期間に当院救命救急センター科のICUでCOVID-19重症肺炎の治療を受けた中でPMX-DHP治療を行われた方

<研究の方法>

COVID-19重症肺炎でICU入室しPMX-DHP治療を開始した患者さんを対象に、カルテを閲覧して情報を集めます。集めた情報を用いて、対象患者さん全体の特徴を比較します。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

救命救急センター科

氏名:桑名 司

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2888 (PHS)8362